

平成30年11月7日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役CFO 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成30年10月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成30年10月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成30年3月期											
	平成29年									平成30年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	469	488	449	404	489	539	483	482	607	552	499	562
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	63,192	72,786	82,184	88,166	117,248	143,437	115,410	122,896	81,853	142,982	164,784	129,679
外国為替取引口座数 (単位：口座)	298,467	300,139	301,557	303,106	304,509	306,001	307,465	308,647	309,873	311,645	313,167	314,547
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	59,995	61,529	62,091	62,774	63,253	64,734	63,512	61,675	61,378	62,789	62,309	61,758
一般顧客	50,108	50,819	51,353	52,431	53,410	54,057	55,014	55,820	55,367	57,073	57,628	56,966
金融法人（B to B）	9,886	10,709	10,737	10,342	9,843	10,676	8,498	5,854	6,010	5,716	4,680	4,792
マネパカード口座数 (単位：口座)	77,503	81,189	85,019	90,702	97,327	101,409	104,187	107,082	110,964	116,830	119,853	122,719

年 月	平成31年3月期											
	平成30年									平成31年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	536	519	478	439	670	606	476					
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	91,552	116,599	101,591	92,238	107,310	84,706	118,371					
外国為替取引口座数 (単位：口座)	315,872	317,341	318,698	319,983	321,275	322,271	323,931					
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	62,379	61,817	63,050	63,736	62,506	62,707	62,428					
一般顧客	57,653	57,015	57,840	58,372	57,290	57,094	57,455					
金融法人（B to B）	4,725	4,802	5,209	5,363	5,216	5,613	4,973					
マネパカード口座数 (単位：口座)	124,965	129,820	134,553	137,762	139,807	141,535	143,219					

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成23年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとB to B取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

<10月次の概況>

10月の外国為替相場は、米ドル／円については、1ドル=113円台後半で取引が始まり、前月からの米国株式市場高騰の流れを受け、4日には月の高値となる114円台半ばをつけたものの、米国株式市場が値を下げると一転ドル売りの流れとなり、15日にはサウジアラビア反体制記者殺害事件をめぐり米国とサウジアラビアとの間に緊張が高まるとの懸念から111円台半ばまで値を下げました。その後も、米国株式市場の動向を横目に上値の重い展開となり、26日には日米株式市場の一段の下げを受け、一時月の安値となる111円台半ばをつけました。その後、トランプ大統領の中国との通商問題に関する発言によりリスクへの警戒感が緩和すると、30日には113円台前半まで値を戻し、112円台後半で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、概ね円高方向で相場は単調に推移しましたが、米ドル／円の変動率の回復に押し上げられる形で全体としての変動率は前月を上回る水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、変動率の持ち直しに加え営業日数が23営業日と前月から大きく増加したことから米ドル／円を中心に大きく増加し、前月比40%増加の1,183億通貨単位となりました。一方、営業収益は、取引高の増加が相対的に収益性の低い米ドル／円であったことからトレーディング収益の増加幅が限定的であったことに加え、前月多額の計上があったシステム子会社によるシステム開発関連売上の反動減があったことから、476百万円と前月比21%の減少となりました。また、顧客基盤については、外国為替取引口座数は前月比1,660口座増加の323,931口座、マネパカード口座数は前月比1,684口座増加の143,219口座と増加ペースが回復した一方、外国為替取引預り証拠金は、金融法人からの預りが建玉の減少等の要因から減少したことが影響し前月比278百万円減少の62,428百万円となりました。

以 上